

次期指導要領の構想が明らかになり、公教育が大きく改変されようとしています。

その中では「何を教えるか」よりも

生徒たちの「資質・能力」をどうやって伸ばすかに

力点が置かれ、

「アクティブラーニングの視点」の指導方法が

強調されたものになっています。

その目指す先は何か？

まさに「教育」は、

グローバルスタンダード資本のための

経済的競争力増強の「人材づくり」であり、

それを遂行するための

「教育スタンダード」としての

「学習指導要領」ということになります。

「教育」とは、全人格の完成を目指して行われるべきものであり、

真の「学び」とは、もっともっと自由で

豊かである

はずです。

学びに、スタンダードは、いらぬ。

教文会議

夏季合宿研究会

(第3・4回総合研究会)

研究会テーマ

「学びにスタンダードはいらぬ

～次期学習指導要領への

対抗軸となる学力論を探る～」

2017. **7. 22 (土) 23 (日)**

ヴィレッジ安曇野

〒399-8201 長野県安曇野市豊科南穂高6780

TEL.0263(72)8568

22日 13:00～

講演 児美川孝一郎さん(法政大学)

実践報告 宮坂正議さん(軽井沢高校)

23日 9:00～

講演 田中昌也さん(都留文科大学)

実践報告 教文国語教育研究会

特別報告 増田望三郎さん(安曇野市議)

教文
会議

長野県教育文化会議

長野市県町593

<http://kyobun-kaigi.sakura.ne.jp/>

TEL 026-234-2216 FAX026-234-2219

E-mail kyobun.nagano-h@educas.jp

2017年度 教文会議 第3・4回総合研究会 夏季合宿研究会

呼びかけ文

次期学習指導要領の構想が明らかになり、公教育が大きく改変されようとしています。

その中では「何を教えるか」よりも生徒たちの「資質・能力」をどうやって伸ばすかに力点が置かれ、「アクティブ・ラーニングの視点」の指導方法が強調されたものになっています。

その目指す先は何か？まさに「教育」は、グローバル資本のための経済的競争力増強の「人材作り」であり、それを遂行するため「教育のスタンダード」としての、「学習指導要領」ということになります。

「教育」とは、全人格の完成を目指して行われるべきものであり、真の「学び」とは、もっともっと自由で豊かであるはずで。

1 実施日 2017年7月22日(土)・23日(日)

2 場所 ビレッジ安曇野(電話0263-72-8568 安曇野市豊科穂高町重柳6786)

3 研究会テーマ 「学びにスタンダードはいらない

—次期学習指導要領への対抗軸となる学力論を探る—

4 趣旨

- ①中教審答申・次期学習指導要領について、とりわけ学力問題を中心に、「主体的、対話的で深い学び」等の批判的検討を行う。
- ②長野県教委の「学びの改革」・「探究的な学力」への批判と対抗的教育実践の視点と課題を明らかにする。
- ③地域づくりと学校づくりを結ぶ視点から、地域での住民運動について学ぶ。

5 日程

● 7月22日(土)

13:00 開会行事

14:00～15:40(10分質疑応答含む)

講演Ⅰ 講師 児美川孝一郎さん(法政大学教授)

演題 「新学習指導要領にどう向きあうか

—問題点と危険なねらいを見すえ、対抗軸を探る—

文献 「教育内容ベースから資質・能力ベースへの転換

—学習指導要領と知の再編」(雑誌『教育』2016年10月号)

15:50～17:00

実践報告Ⅰ 社会科教育研究会より(報告は30分)

軽井沢高校 宮坂正議さん 授業実践

● 7月23日(日)

9:00～10:40(10分質疑応答含む)

講演Ⅱ 講師 田中昌弥さん(都留文科大学教授)

演題 「学力問題の展開とアクティブな学びのあり方」

文献 「アクティブな学習のあり方」(雑誌『教育』2016年11月号)

10:50～12:00

実践報告Ⅱ 国語教育研究会より(報告は30分)

「新学習指導要領に関わって国語科としての課題」

13:00～14:20

特別報告 「宿づくり、地域づくり、そして、学校づくり」

講師 増田望三郎さん(安曇野市議会議員)

14:20～15:00

総括討論

まとめ